

8 月 31 日 : 引き続き低調なマーケット

水曜日の各指数は引き続き売り圧力に投資家が直面する中で別々の動きを見せた。

ホーチミン市場の VN 指数は+0.09%の 1,280.51 ポイントと続伸した。市場が好意的な方向に変化してきた事で、午後の取引にかけて上昇を記録した銘柄が多かった。しかし流動性は前営業日よりも低くなっており、出来高は-4.34%の 11.68 兆ドン（4 億 9,790 万ドル）となった。

VN30 指数は+0.25%の 1,301.44 ポイントの小幅高となり、17 銘柄が上昇、11 銘柄が下落を記録した。

VN30 指数の上昇は不動産・銀行セクターなどの魅力的な分野によって支えられた。ビンホームズ（VHM）は+1.84%、他にも VP バンク（VPB）、ベカメックス（BCM）、マッサングループ（MSN）、モバイルワールド（MWG）、BIDV(BID)がそれぞれ+0.5%～+1.44%の間で上昇した。

市場全体ではさらに水産関連銘柄の上昇も大きな要因となり、ビンホアン（VHC）が+3.32%、ナムベト水産（ANV）が+5.21%、そして国際投資開発（IDI）が1日の値幅上限である+7%となった。

一方で継続的な売り圧力がマーケットの上昇を抑え、多くの大型株が株価を下げた。ベトコムバンク（VCB）が前営業日の大きな上昇からの利益確定で最も値を下げて2.33%の下落、それにペトロベトナムガスが1.5%以上の下落が続いた。

ハノイ市場の HNX 指数は-0.66%の 291.62 ポイント、出来高は 1.6 兆ドン相当の 6,620 万株であった。

海外投資家は両市場で売り越し、ホーチミン市場で 1,823 億ドン、ハノイ市場で 204.4 億ドンの計 2,027.4 億ドンの売り越し額であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。